



一笑会

—会報 23 号—

2022 年 6 月 8 日発行

発行：一笑会事務局

定時総会開催

一笑会の定時総会が 6 月 4 日（土）石神井庁舎会議室で 14 時から開催されました。参加者は浅見眞一郎・石崎満・岩田澄江・金澤有司・久保田秀夫・小林輝昭・篠原あき子・平川しま子・深津律子・吉田照子・美濃眞一郎・村井健吾・山戸桓一・山根光生の一 14 名。20 名中 3 名休会中

総会では、初めに 2021 年度の活動報告がされました。

スポーツ安全保険に加入

2020 年 4 月から練馬区各施設使用料免除団体となる。

2021 年度会計報告では、59,745 円の繰越金が承認されました。

特記事項として

- ・中原利之さんのご逝去。
- ・松本大和さん名古屋転居の為退会が報告されました。

22 年度の活動計画は。定例会は毎月第一土曜日に開催。

8 月 26 日（土）は「サマーフェスタに参加予定。

役員会改選

○会長：小林輝昭

○副会長：石崎満・山戸桓一・吉田照子

○顧問：久保田秀夫・金澤有司・浅見眞一郎

○運営委委員：鈴木達男・山根光生

・美濃眞一郎

○会計：美濃眞一郎・岩田澄江

総会終了後は場所を変え 10 名で懇親会を開催。交流を深めました。

参加者から年会費 3,000 円を徴収。



小林輝昭新会長挨拶

今回の総会で僭越ながら浅見会長からバトンを受け継ぎました。詳しいことは議事録に委ねますが、役員は会長以外そのままとし、新たに副会長に石崎さん、山戸さんをお願いしました。次回は 7 月 16 日で石神井庁舎 5 階 14 時です。1 年間の企画会議とします。映画鑑賞・音楽鑑賞・街歩き・旅行・見学・BQ・講演・落語鑑賞などなど、他のサークルと違いバラエティに飛んだ会です。会の今後についても企画会議で行います。8 月はサマーフェスティバルです。8 月 28 日ココネリです。会から半額の補助があります。出欠をお願いします。9 月から先ほどの企画に則り賑やかに進めていきます。宜しくお願いいたします。

浅見眞一郎前会長挨拶

みなさま

昨日は総会においでいただきありがとうございます。私の会長期間はコロナ禍のため、活動も停滞し不十分でありましたので、2 年間の任期を特例として 1 年延長することとなり、都合 3 年間で担当させていただきました。

ご期待に沿えない点多々あったかと思いますが、皆様のご協力のおかげで何とか務めを果たせたことを感謝いたします。

総会では小林新会長が誕生いたしました。おめでとうございます。

有能な小林さんにバトンタッチできたことは、なんと幸せな事よと喜んでおります。

新会長には一笑会と NSN の発展にぜひ力を発揮していただきたいとおもいます。

みなさま、どうもありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。

浅見前会長へ 小林新会長へ 村井健吾

浅見前会長へ

3 年間大変お世話になりました。コロナ禍の中で新しく ZOOM 会議など取り入れていただいたり色々ご配慮いただき有難うございました。私の病気のためと病妻介護でご迷惑をおかけしたこともありました。一笑会お会長として大変ご尽力いただき有難うございました。今後も街歩きのリーダーなどで宜しく願いいたします。

小林新会長へ

すでに多くの会の会長を務められてるそうですが、期待された最適任者ですから一笑会 4 代目会長にと推挙されました。宜しく願いします。老々介護で制約されていますが、ご迷惑をかけないよう参加に努めます。

庁舎の団体登録の代表者の変更手続き今週中に小林会長に変更します。

- ii. 次回の 16 日の会議参加します。
- iii. 8 月 28 日のサマーフェスティバルに参加します。
- iv. 8 月の会議室の予約は不要また。

浅見様 吉田照子

本当に ご苦労様でした。

ジャジャ馬揃い それでいて 根はいい人揃いの一笑会を 三年間纏めて 頂き ありがとうございます😊NSN でも 胸を張って 一笑会を 自慢できる会に 導いて 頂き感謝しています。

今日 吉田みちこさんから お電話頂き知らない世界？で 楽しめそうだと 喜んで くれました。

入会するそうです。彼女とは 公文の指導者仲間です。宜しく願い致します。

ナポリを見ずして死ぬことなかれ 山根光生

穴埋めに拙文掲載お許しを！

3 月末歴史おたく仲間と東京国立博物館で開催のポンペイ展を観に行った。平日ながら春休みと上野公園の花見シーズンが重なり、予約なしのため 45 分並んで入場。中は広くゆっくりと鑑賞できた。起源 79 年イタリア中南部のポンペイのヴェスヴィオ山が噴火し 1 万人の人口と街が一瞬で火砕流に飲み込まれた。火砕流には乾燥剤のシリカゲルに似た成分が含まれていたことが幸いし埋もれた遺跡を保護していた。イタリア・ナポリ国立考古学博物館所蔵品から 150 点が、日本に持ち込まれた。壁画や彫像には思わず息を飲んだ。当時の日本は弥生式土器・竪穴式住居で稲作が始まった時代。ポンペイでは屋根には瓦、床にはフレスコ画やモザイク画が施された石造建物・共同浴場・大理石の彫像等など、これほど高度な文明が栄え都市が構築されていたことは驚嘆に値する。特に水道の整備技術は素晴らしく 1 k m で僅か 34 c m (100 m で 3.4 c m) の高度差という技術のレベルは半端ではない。水道の蛇口や継ぎ手は現在の物とほとんど変わらない。人間の英知の素晴らしさに言葉を失う。街には 30 件ほどのパン屋やテイクアウト出来る飲食店もあり、市民はガスや電気は無いが 21 世紀の現在と同じように生活していたことが伺える。農耕用の鋤や鍬は形状が現在の物と殆ど同型。人間の工夫による到達点は同じものに収斂されるということらしい。奴隷制度はあったが市民は比較的平和な暮らしを営んでいた。2000 年前にこれほどの文明社会が存在していたのに、現下の核兵器保有による武力の均衡など論外。先人たちが今の状況を見たらどう思うか沈潜すべきだろう。歴史の積み重ねによる人間の英知は恒久平和な暮らしの為だけに使いたいものだ。

